

News Release

一般社団法人日本 CFO 協会

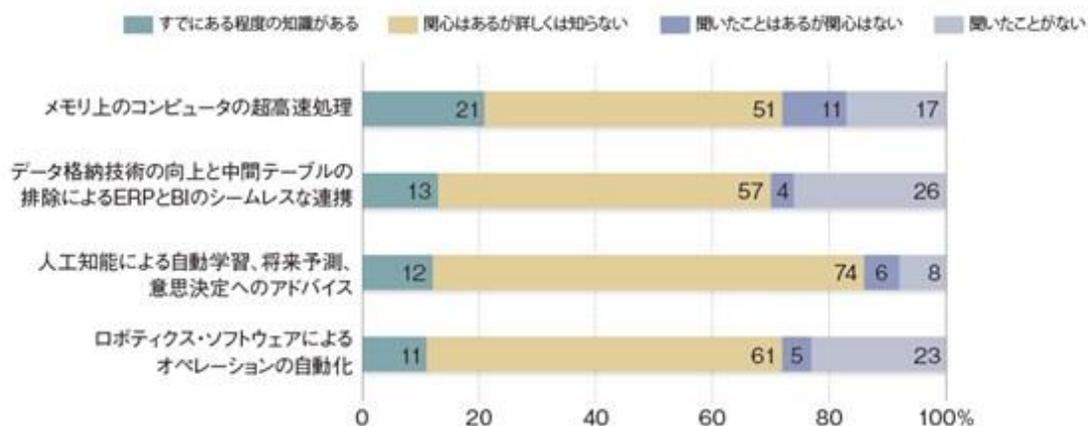
2017年6月7日

**日本 CFO 協会、日本 RPA 協会との提携で「AI・ロボティクス部会」を発足
経理・財務部門の「働き方改革」を支援。2017 年度中に 200 社で RPA 導入を見込む**

一般社団法人日本 CFO 協会（東京都千代田区、理事長：藤田 純孝、以下 日本 CFO 協会）は、一般社団法人日本 RPA 協会（東京都港区、代表理事：大角 暢之）と提携し、経理・財務部の業務自動化や高度化を促進する取り組みとして「AI・ロボティクス（RPA）部会」を発足します。

昨今、日本企業の経理・財務部では、海外展開や事業拡大だけでなく、IFRS（国際財務報告基準）や会計コンバージェンスにより複雑化かつ高度化する会計・開示業務、分析・意思決定支援といった高いスキルを要する業務への対応も求められています。また、政府が推進する「働き方改革」を受けて、経理・財務部においても生産性向上への関心が高まっています。このような状況下では、現場業務のより一層の効率化や自動化、高度化が急務となっており、AI や RPA(Robotic Process Automation)* といった最新テクノロジーの活用に期待が寄せられています。

日本 CFO 協会が上場企業の経理・財務幹部を対象に実施した調査「CFO 部門におけるデジタルテクノロジー活用の現状と課題」によると、AI、RPA への関心や知識について「関心はあるが詳しくは知らない」という回答が圧倒的に多く（AI:74%、RPA:61%）、実際の対策については手探りの段階であることが明らかになりました。日本 CFO 協会では、こうした財務・経理現場の課題に応えるため、一般社団法人日本 RPA 協会の協力のもと「AI・ロボティクス部会」の発足に至りました。



デジタルテクノロジーについての関心や知識

出典：日本 CFO 協会 CFO FORUM 財務マネジメント・サーベイ「CFO 部門におけるデジタルテクノロジー活用の現状と課題」
(2016年10月) <http://forum.cfo.jp/?p=6172>

AI や RPA の導入は現在、コールセンター業務、EC サイトの商品登録や在庫連携、価格調査や特許調査などの単純な定型業務に集中していますが、専門性が求められる経理・財務における導入の成功によって他部門への導入が加速し、ホワイトカラーの生産性を飛躍的に向上させると期待されています。同部会への参加予定企業 50 社を中心にプロトタイプを構築し、初年度で 200 社への RPA 導入を見込んでいます。

AI・ロボティクス部会（AI & RPA Consortium）について



【主催】一般社団法人日本 CFO 協会 協力：一般社団法人日本 RPA 協会

【概要】

長時間労働に悩む経理・財務部門の生産性向上による「働き方改革」の実現を目的として、AI やロボティクス（RPA）を中心とした現場で推進が可能なデジタルテクノロジーの活用方法を勉強し、具体的な事例をメンバー間で共有するプラットフォーム。

*RPAとは

RPA(Robotic Process Automation)は、これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業、もしくはより高度な作業を人間に代わって実施できるルールエンジンや AI、機械学習等を含む認知技術を活用した業務を代行・代替する取り組みです。人間の補完として業務を遂行できることから、仮想的労働者（Digital Labor）として、2025 年までに全世界で 1 億人以上の知的労働者、もしくは 1/3 の仕事が RPA に置き換わると言われています。

（参照元：McKinsey Global Institute Disruptive technologies: Advances that will transform life, business and the global economy. May 2013）

【幹事】

座長：櫻田 修一 氏

（一般社団法人日本 CFO 協会主任研究委員、
株式会社アカウンティング アドバイザリー マネージングディレクター、
公認会計士）

幹事（ご氏名五十音順）：

大角 暢之 氏

（一般社団法人日本 RPA 協会 代表理事、
RPA テクノロジーズ株式会社 代表取締役社長）

小畑 哲哉 氏

（エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ株式会社 代表取締役常務）

菊池 鉄穂 氏

（サントリービジネスシステム株式会社 執行役員 経理センター長）

下山 慶太 氏

（公認会計士 株式会社クニエ ディレクター）

中田 清穂 氏

（公認会計士 有限会社ナレッジネットワーク代表取締役社長、
一般社団法人日本 CFO 協会主任研究委員）

【全体概要】

- ・2 時間の会合を隔月で 6 回実施（2017 年 7 月から 2018 年 3 月）※開催時間 15—17 時
- ・毎回テーマに応じて講師によるプレゼンテーションと質疑応答・グループ討議等を実施。
- ・講師はテーマにより適宜外部または内部（部会メンバー）から人選。

※AI・ロボティクス部会の開催日程・参加費用等の詳細につきましては Web サイトをご覧ください。

http://www.cfo.jp/study_and_interaction/ai_lobo/

一般社団法人日本 CFO 協会について

日本 CFO 協会は、日本企業の経理・財務をはじめとしたグローバルな経営管理手法と倫理の高度化を目的として発足した非営利団体で、IGTA（国際財務協会連盟）、IAFEI（国際財務幹部協会連盟）に加盟が認められたわが国唯一の国際的財務教育機関です。経営・経理・財務分野で活躍するビジネスパーソンのスキル向上とキャリアアップを目的に様々な経営手法や経営技術に関する教育・サービスを提供することで、企業の財務パフォーマンスの向上を支援しています。2005 年より、経済産業省経理・財務人材育成事業として「経理・財務スキル検定（FASS）」を開発・実施しています。

設立：2000 年 10 月 12 日

理事長：藤田 純孝 伊藤忠商事理事（元伊藤忠商事代表取締役副会長）、
オリンパス社外取締役、古河電気工業社外取締役、

所在地：東京都千代田区平河町 2-7-1

活動内容：資格認定／検定試験／セミナー、フォーラム／出版／研究会・委員会／
交流会／国際会議

会員数：個人会員 1,920 人 法人会員 206 社（2017 年 4 月 1 日現在）

【本件に関するお問い合わせ先】

日本 CFO 協会 事務局：谷口、中山

TEL: 03-3556-2334 Email: info@cfo.jp

株式会社井之上パブリックリレーションズ 日本 CFO 協会 PR 担当：小笠原、塚田、横田

TEL: 03-5269-2301 Email: cfo@inoue-pr.com

■ 一般社団法人日本 RPA 協会について

日本 RPA 協会は、国内外の関連団体との情報交換や協力のための活動を通じて、健全な業界の発展と、RPA エコシステムの活性化により、仮想的労働者（Digital Labor）と人間が共存する世界を目指し、世界の RPA 市場における日本のプレゼンスの向上に貢献することを目的とする団体です。

今後、新たな RPA を活用したビジネスが生まれやすい環境を整え、業務効率化による社会発展に向けた一つの視点として、様々な案が生まれる場にしていきます。

設立：2016 年 7 月 20 日

代表理事：大角 暢之 RPA テクノロジーズ株式会社代表取締役社長

所在地：東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル

活動内容：調査研究／情報発信、政策提言／標準化の推進、ガイドラインの構築／展示会、
講習会／人材育成／サービスの実証実験／関係省庁や関係団体との連携及び意見交換／国内外の関連諸団体等視察／その他各種活動

【本件に関するお問い合わせ先】

日本 RPA 協会 事務局

TEL: 03-6821-7418 Email: info@rpa-japan.com